



初心者の 写真の撮り方&コツ

今年もC-TANK新聞、並びにシンカを応援頂きありがとうございました。この時季なにかと写真を撮る機会が増えますよね。
デジカメを買ってさあ撮ろう・・・と思っても、何だか知らないけどうまく撮れない。そんな風に思ったことはありませんか?そこで今月号では、写真を撮るためのちょっとした『コツ』を教えちゃいます。コンテストなども頻繁に開催されていますよね。
シンカでもOB様対象で、下記のような『フォトコンテスト』を企画しています。是非お気軽にご参加ください。お待ちしております♪



何をどのように撮るか?

漠然と写真を撮ってはダメです。
例えば、旅行先で家族写真を撮るとき…風景も入れたい、人も入れたい、建物も入れたい…とにかく全部入れて撮ろうとするのはx。
まずすべき事は「主役」を決める。次にその主役を「どのように撮るのか」を決めること。それを意識するだけでも、上手な写真が撮れるようになります。



思い切っていないものを削る

人物を主役にするに決めたら、例えば風景も思い切って削ったり、あえて建物を削る必要もあります。そこでもったいないと思ってしまうかも知れませんが、写真を見た人には何が主役なのかがはっきりした写真になり魅力的に映るものです。



思い切っていないものを削ってみるとこうなります↓



グッと近づき下から撮影してみると違ったイメージになりました↓



アングルを変えてみる

上手く撮れない、なんか面白くない写真になるとしたら、カメラの位置・アングルを変えてみましょう。



同じ写真でも設定を変えて何枚も撮影!

プロも1枚だけでよい写真は撮れません。同じ被写体でも設定を変えて何枚も撮影してみましょう。そうやっていく内にどの場面でどのような設定がいいのかわかってくるでしょう。



日の丸構図って何?

写真は構図がとても大切です。被写体をど真ん中に置く構図のことを『日の丸構図』と呼びます。この構図の欠点は①一般的過ぎて平凡な写真になってしまう。②被写体がど真ん中にくるため、まわりに余計なものも多く写り込んでしまう点です。
もちろん、日の丸構図が悪いというわけではなく、意識して被写体をど真ん中に配置するのと何も考えずにど真ん中に配置したのでは、全く違ってきます。



↑どこにもある平凡な被写体をど真ん中に配置すると写真もどこか平凡。



↑被写体を右にずらすと、これだけ違って見えます。

テーマ
暮らしを楽しむ

作品
募集中!

第1回 シンカOBさん フォトコンテスト

応募期間 / 平成26年
12月1日~12月17日まで

※OBさん・・・新築、増築、改装、外構、
シンカ管理アパートにご入居の方、等

■撮影日	1年以内に撮影したもの
■入賞発表	C-TANK新聞1月号とホームページにて
■作品展示	シンカDesignLabo内とホームページにて
■応募作品の審査	12/21のもちつき大会で1家族1票の投票方式
■応募方法	「タイトル」「説明文」を添付してください。 データは cinca-info@cinca.co.jp へお送り頂くか、直接事務所までデータをお持ちくださいね♪

賞品

グランプリ	商品券3万円	1名
準グランプリ	商品券1万円	2名
参加賞	CINCA倶楽部ポイント10P	全員

↑2000円相当です♪

■その他

- 人物は必ず入れてください。
- 作品は、ご家族が撮影されたオリジナル作品に限ります。
- 画像の加工、トリミングした作品も応募可。
- 作品の著作権は応募者本人に帰属。但し応募者はシンカが作品を自社の広告・宣伝等の為に無償で利用する事及び作品の全て又は一部を加工して利用する事に同意して頂きます。